

Q&A

- Q** 災害時の避難指示は任意なのか、あるいは強制的に命令的にするのか。
- A** 強制力は無いものの「発令理由」「発令区域」「避難情報」「避難所」などについて発信を行う。発令区域の方は、まずはご自身、家族の身の安全を確保し、次に隣近所、自治会、自主防災会などで声を掛け合い、協力して避難をしてほしい。
- Q** 防災組織の引継ぎについて、市の考えは。
- A** 自主防災会の役員の引継ぎは、地域防災活動の円滑な遂行において重要な要素である。今年度より、各自主防災会等で継続的な活動ができる防災リーダーの育成を図るため、深谷市防災士養成講座の開催を予定している。
- Q** 避難所での受け入れと、その後の対応については。
- A** 避難所での受け入れと、その後の対応については、備蓄食料や飲料水、生活必需品



たか だ ひろき
高田 博之
映像はこちらから

Q 防災行政無線の放送や自治会自主防災会への電話連絡等を準備している。人員については市の職員が中心となって行っている。長期化し、人員が不足する時は、埼玉県や他の関係機関に応援職員の派遣を要請するほか、避難者にも運営に協力していただく。

Q 不足する物品の追加搬入は。避難所です不足する物品は、市防災倉庫からの運び込みのほか、県や災害協定締結団体等に物資の支援を要請し、必要な物品が途切れないよう確保する。

避難を助ける情報



深谷市ハザードマップから

- Q** 避難所での不足する物品は、市防災倉庫からの運び込みのほか、県や災害協定締結団体等に物資の支援を要請し、必要な物品が途切れないよう確保する。
- Q** 自校方式の学校給食施設は、深谷市の特色のある取組の一つだが、避難所への食事の提供は出来るのか。
- A** 炊飯の設備がないため出来ない。

Q 深谷市川本地区瀬山地区内に、古くて機能を果たしていない案内看板が設置されている。特に国道140号バイパスから見える看板は目立つため、地元から撤去要望がある。市として撤去指導ができるか伺いたい。

A 現地を確認したところ、国道140号バイパス沿いの深谷市道の中に設置されていた。設置された経緯などは不明だが、市では設置者の調査を進め、撤去して頂くよう指導していく。



なが た かつ ひとし
永田 勝彦
映像はこちらから

Q 設置者の調査を進め、撤去して頂くよう指導していく。

Q 古い看板の撤去について、市として指導ができるか

令和6年度 政務活動費収支報告

政務活動費とは、地方自治法の規定に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するために必要な経費の一部として、交付されるものです。

会派名	深谷同志会 (12人)	深和会 (2人)	公明党 (3人)	日本共産党 (2人)	小林ミルク (2人)	元氣会 (2人)	小泉 誠
交付額 (A)	3,600,000	600,000	900,000	600,000	600,000	600,000	300,000
支出額 (B)	3,550,096	597,355	620,969	471,044	600,000	600,000	300,000
調査研究費等	3,113,979	359,196	122,586			380,297	3,050
研修費			121,285				
広報費	436,117		180,914	471,044	600,000	173,943	296,950
資料購入費		59,600	73,696			45,760	
事務費		178,559	122,488				
差引額(A-B) (市への返還額)	49,904	2,645	279,031	128,956	0	0	0

詳細は深谷市議会ホームページをご覧ください。



深谷市議会 政務活動費



Q&A

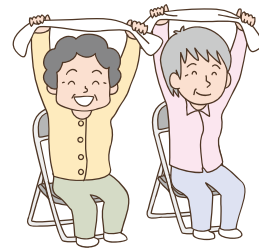
Q 高齢者の熱中症予防対策の具体的な施策は

A ネットクーラーを配布する



とみ た ますあき
富田 達晃
映像はこちらから

- Q** 高齢者福祉について施設方針で表明されたが具体的な施策は。
- A** 一人暮らしの常時注意を要する方を対象に専用の緊急通報機器を設置、また熱中症対策として民生委員を通じてネットワークを配布する。
- Q** 敬老会への補助の状況は。
- A** 補助対象の413団体の内で補助金を130団体を受けた。
- Q** 補助金は今年も一人当たり800円だが物価高騰対策は考えないのか。
- A** 始まったばかりの制度なので当面同じで実施していく。
- Q** 高齢者の免許証返納等による買い物困難者について対策は。
- A** 社会福祉協議会との連携強化を図り考えていく。
- Q** 地域福祉にボランティア活動は必要不可欠と思うが対策は。
- A** ボランティア活動の参加割合が



- コロナ禍の影響も受け令和6年度で49.9%と目標値に届かず、活動を充実させるために、人材育成や有償制度の導入など課題解決に向けて調査研究をしていく。
- 青色パトロール車について**
- Q** 活動状況はどうか。
- A** 8団体21台433人が活動している。八基では週3回、花園は週2回である。
- Q** 花園の青パト車両の更新はどうするの。
- A** 指定管理者や警察署と協議の上、対応していく。



こまつ まさと
小林 真
映像はこちらから

- Q** 市内を走るスクールバスや企業送迎バスを公共交通化できないか。
- A** 民間交通事業者の発意に基づくものでないと実現は難しい。
- Q** 公共交通に利便性が高い「広域的な取組」に限る国交省「モビリティ人材育成事業」を、周辺市町に持ちかけられないか。
- A** まずは「くるりん」の運行充実を図りたいと考えており、広域的取組は現時点では考えていない。
- DXで地域社会をイージーに**
- Q** 小中学校の「まなびポケット」活用状況と今後は。
- A** まなびポケットは、コンピュータ上でテストを行うメタバットへの接続、ドリル教材などの学習ツール、学習データ可視化、職員と保護者間などの連絡効率化を図る校務支援ツールが活用できる。ペーパーレス化



区間均一200円。
ペイペイ、スイカなども利用できる。

- Q** 民間交通事業者からの要望。利用者は現在1.8倍増など利点もことから活用を進め、学びが一層充実するように努めたい。
- Q** eラーニングで子どもたちは漢字練習から開放されるか。
- A** その子に合った支援をするのが学校。漢字練習はなくならない。
- Q** ネギーで、自治会費等の集金、団体への寄付が遠隔でできないか。
- A** 現行のネギーのシステムでは遠隔での決済はできないが、集金について引き続き検討したい。なお、資金決済法上、団体への寄付は不可。
- Q** 市民団体の「Tサポーター」は。
- A** 「Tサポーター」深谷と公民館の協働で実施中。個別の相談にも対応している。

Q 深谷北・籠原北線バス運行開始の経緯と現状は

A 民間交通事業者からの要望。利用者は現在1.8倍増